京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社

雜報

米國の比島政策

比律賓に對する米國の政策は種々成功し居るも主として政治的施設にして產業及開拓に到りては寸毫も見るべきもの無し

▲軍事● に到りては海防の充實せる外に內亂鎭撫の防遏する爲めに一師團一萬二千の白人兵七千の土兵及五千の土人憲兵を有し憲兵は同時に警察事務に當り效果顯著なりと云ふ而して同島に於ける

▲商業● は米國人の勢力殆んど見るべきもの無く最も優勢なるは支那人にして全部其の壟斷に委せられ西班牙人も政治上の勢力こそ失墜したれ風俗慣習等に於て全島を支配し居るが故に商業上侮るべからざるものあり

▲政治● は主として自治により下級自治体たるプロビンスの行政長官は民選たり而て別に民選の下院ありて八十名の議員より成り上院は米國大統領の推選により九名より成る中四名は比律賓人たり五名は米國人にして其中一名は議長たる總督なり而して同島の人種は是を三階級に分ち第一基督敎徒たる白人及土人第二非基督敎即ち山間に遁住せる土人第三モーローと稱するマホメット敎徒にして基督敎徒のみ議員其他の選擧に與り一切の參政權を有するに對し最後に米國の政策に對する一般士人の

▲意向● 如何は最も注意を値する問題なるが多少の不平は免れざるも大体に於て滿足し居るものと言はざるを得ず元來同島は西領時代に於て僧侶のみ政權を有し土地を領有し誅求壓迫飽く無かりしを以て此の政治的覊束を弛べんが爲にアギナルドの反亂を招きたるも其目的は斷じて獨立にはあらざりしなり而して米國の政策は土人に對しアギナルドの要求を悉く與へ居れり去れば現に存する幾分の不平の如きは寧ろ望蜀の念に驅られたりと云ふべきなり

地方通信

△平壤通信

▲淺瀨浚渫と物揚場● 鎭南浦淺瀨の浚渫と新稅關貨物揚場設備の事に付ては昨年來より屢々傳ふる所なりしが此事に付ては當時の鎭南浦稅關長たる有賀光豐氏及び當地若松理事も共に力を協せ度支部に交涉する所ありたるの結果は同部に於ても大に其必要を認め技師をして測量設計せしむる所あり諸般の準備悉く整ひ何時にても着手するを得べき迄に運び居り目下唯其經費の支途に付き研究中との事なるが今其詳細を聞くに大体の設計は淺瀨浚渫の土砂を以て新鎭稅關の所より南浦通一丁目下陸路門の間に於ける江岸の埋立てを爲し共同貨物揚陸場を設備し其經費十三萬四千二百八十五圓にして之に本年度より來年度までの繼續費として支出する計畫の由なるが其鳥灘洞江岸の淺瀨は幅二十間深にして低水位即干潮の際に於ても四尺五寸以上の水深を爲し其浚渫したる土砂を以て前記稅關より陸路門までの間延長三百間突出十間の間約四千坪を埋築し其間は悉く石垣と爲し且中央に二箇所に龜甲張石の段階を設けて貨物揚陸に便ならしむる最も完全なる計畫なりと云ふ

▲觀察道の移轉說● 平安觀察道は市街の北隅に邊在し諸般の事に就き頗る不便を感じ居れるを以て便利の場所に移轉せられんとの說は久しく聞く所にして且つ北候補地としては離宮跡を指定せられ居りしも其當時は離宮が尙は宮內府の所管なりしを以て兎角に故障ありて其運びに至らざりしが過日愈內部の方に轉管せられたるを以て當地觀察道が右離宮跡に移轉することは或は事實と爲りて現はるべしと云ふ

東京電報

東京物價の騰貴

一月中に於ける物價は滿韓中立問題解決の爲め一般に氣引立ち諸會社活躍し前月に比し重要品五十六種中持合二十一品低落十九品騰貴方六品平均四厘三毛の高騰を示せり(十二日)

佳節と教育表彰

文部省は昨日の佳節を於て小學教員市町村吏員優良學校縣郡視學中學教員の功勞を表彰せり(同上)

一月末の主計簿

一月末日大藏省主計簿現計は歲入四億三千五百四十万五千五百圓三十二錢二厘歲出三億八千九百六十一萬八千五百二十四圓四十四錢二厘にして之れを前年同期に比すれば歲入九千二百七十一万[illegible]十四圓餘歲出に於て六千九百九十八萬五千六百六十圓餘[illegible](同上)

商船と郵船競爭

櫻丸が[illegible]されたるに對し商船會社は臺灣航路を廢せんとの[illegible]郵船會社は機挫く[illegible]御用船を借り受け損失を顧みず大競爭を試み該航路を壓迫せんと頻りに作戰計畫中なり(同上)

豫算可決と三稅

本日[illegible]に於て地租、地價修正[illegible]決、通行稅案否決、四十三年度に於[illegible]妥協案通り可決さ[illegible]案は否決されたり(同上)

上旬の輸入超過

本月上旬に於ける貿易は輸入超過二百五十二万一千圓にして輸出五分輸入一割二分[illegible](同上)

福島縣知事新任

愛媛縣事務官[illegible]氏は今回福島縣知事に任ぜられたり(同上)

大連電報

兇漢と檢事論告

伊藤公暗殺兇漢安重根外連累者三名に對する第四回公判は十一日午前九時高等法院にて開廷せらる眞鍋裁判長溝淵檢察官園木通譯渡邊書記着席官選辯護人水野、鎌田の兩辯護士出廷し檢事の論告に次ぎ兩辯護人の辯論ありて溝淵檢事の論告は[illegible]ありて滿廷水を打ちたる如く[illegible]り而して檢事は詳細に犯罪の經過を痛論し流石兇惡なる被告等も[illegible]せしめ傍聽者は執[illegible]働ふしたり最後に安重根を死刑に[illegible]懲役二年に柳東夏を一年半に處刑すべく要求したり向ほ被告安重根は此論告に對し覺悟あるもの〻如く他の被告等はアッと一息吐けるを見ぬ其他傍聽席に在りし安の妻弟等は涙含みつ〻相顧み大東共報社長ミハイロクは頻りに腕を拖するを見たり傍聽人二百九十餘名に達せり(同上)

電報

豐明殿の御祝宴

一昨十一日宮中豐明殿に於て紀元節の御祝宴を豫定の如く開かせ玉ひ各皇族大勳位親任官以下千三百餘名に御陪宴を仰付けられ 陛下は龍顏殊に麗しく優渥なる勅語を賜ひ締盟各國との親交益々敦厚なるを喜ばれ各君主大統領の健康を祝され桂首相臣下一同を又た英大使は外臣一同を代表して謹で聖旨に奉答せり

韓皇の太廟展謁

韓皇は來る十六日太廟を展謁あらせらるゝ由にて出宮時刻及道筋は午前十一時三十分北墻門出御太廟展謁、午後一時還御の御豫定なるが當日は宮內府勅任官以上內閣各部院親任官其他百官中宗親文武官の參列を許さるべし尙十七日午前十一時皇后御同列德壽宮に行幸啓あり眞殿、景孝殿を展謁、懿孝殿を展拜あり午後三時三十分還宮あるべし

紀元節の祝賀會

十一日紀元節祝賀晚餐會は豫定の通り統監官邸に於て開催せられしが午後九時半頃一同三鞭酒の祝杯を擧げて兩陛下の万歲を唱へて散會頗る盛會なりき

曾禰統監の病狀

曾禰統監は病氣の爲め目下片瀨の別莊に療養中の由なるが其の病狀に就き聞くところに依れば過食にて胃腸を害せし上に感冒にて發熱あり面會を謝絕し療養中なりと云ふ

韓國豫算の決定

兒玉政府委員より十日午後六時統監府石塚長官に宛てたる電報左の如し
本日豫算總會に於て四十二年度追加豫算全部議了本府關係は總て昨電の通り決定せられたり

大島都督の留任

關東都督大島大將は先般諸公の慰諭默止し難きものあり結局留任することゝなりたるが豫て大將より提議せる案件に關し政府當局との間に滿足なる解決を告げたるを以て今回愈々留任すると確定したりと又大將の辭表提出以來都督府縮小の議一部に起りたれども政府は豫算委員會に於て石井外務次官をして答辯せしめたる如く同府の組織を變更することは斷じて爲さゝる由なるが政府が斯くも斷乎たる答辯を爲したるは一度同府の組織を變更して都督を置かざることゝせんか將來必要の場合に於て再び都督を置かんとするも消國の現狀に鑑みて到底其同意を得んこと困難なるべく斯の如きは滿洲發展上頗る得たるものにあらざるを以て矢張り現狀を維持するに決定したる次第也

楊市暴動と學生

一昨十一日附にて在新義州よりの特報は楊市紛擾の暴民中に學生が加擔し居りて捕縛せられたることゝ軍隊の活動狀況に付き其の一般を知り得るに付今之れを示さんに▲楊市の住民 は約五千名にして日本人在住者は未曾て皆無なりしが昨年十一月巡査駐在したるも今猶在留邦人無し亦住民の四分の三は耶蘇教徒にて常に排日熱熾んなり又楊市附近即ち龍川府一圓は韓八道中古來最上等品質の米の產地として著名なり▲新義州 には去る六日平壤より急行せり大尉西澤雄、中尉福島輔五郞、同加治嘉吉三氏の引率せる下士以下三十一名は當分同地に守備隊とし臨時根據地と定められ附近各地の狀勢に依り隨時出張警備を爲すことゝなりたり▲今村警視 は十日楊市を經て龍岩浦に向ひ十三日頃歸京の途に就く由▲榊原少將 の一行は十一日新義州發歸途宣州等の各地を巡視して歸任すべしと▲暴徒逮捕 楊市暴動の首魁と目せらるゝものにして最初拘引されたるものは

龍川郡楊下面楊市立岩洞 普通學校生徒		張竹變(二六)
義州府津里面藿𥸮洞		
同	上	趙奉國(二四)
龍川郡楊下面楊市		
同	商業	金楨宗(一九)
同上住	農業	韓永逸(四五)
同上住	商業	金基瓚(三六)
同上住	負褓商	李根赤(二三)
同上住		李成學(三六)

の七名、其後拘引されしものは
楊市商務總會社 同 宋子賢 同 黃菊保 同 黃菊萬 同 李正黃 同 金基赫 同 鄭承錚
の外總代韓波議、張輔鑾、宋子賢の三名なるが宋子賢を除くの外二名は市場問題に關係なき爲め放還、宋子賢は主謀者なりと▲前記の首魁 は總て十日午後龍岩浦警察署より新義州裁判所へ護送されたり▲楊市靜穩 其後の楊市は至極靜穩にして民心又平和の模樣也

李在明の公判期

李在明の連類嫌疑者は曩きに警視廳より裁判所へ送られたる者二十五名にして內十六名は目下拘禁せられ伊藤檢事の手に於て調查中なるが本月中には公判提起の上判事の手に移る筈にて隨分多數の書類なるを以て公判の開廷は來月中旬後なるべしと云ふ

慶尙北道の將來(下)

(統監大邱理事官談)

慶尙北道を開發するに當り急先鋒として道路改修を說き來りし氏は更らに語を轉じて產業獎勵問題に就いて曰く、目下韓政府は各所に種苗所、蠶業講習所等を設置して盛んに韓國產業を鼓吹しつゝあり而も大邱は其の重なるものなるものあり、然れども之れ等產業獎勵は韓半島現在の狀勢より觀る時は實に一時も忽にすべからざるものなりと雖も、其の方法の如何によりては獎勵も却つて不結果を呈するに至るや疑ひを容れざる處なりとす、抑も本邦が維新當時に於て盛んに產業を鼓吹し加ふるに其の消散方法を講じ與へたればこそ今日の如き隆昌を觀るに至りたるなり、然るに韓政府が標榜する獎勵は本邦の夫れと異り現在にては只獎勵するに止まりて之れより得たる物資に就ての消散方法としては何一つ考究されたるものなきを以て實を懷にして饑餓に迫るの狀態となるやも計られず即ち乞ふ槐より始めよの如く韓政府こそも產業獎勵するに先ちて其より得たる物資の消散方法を考究し而して農民に便宜を與ふる必要なくんば遺回の產業獎勵は到底成功覺束なきものと云ふも決して過言にあらざるなり、況んや曖昧なる韓民の事なれば用途を講ぜざるに於ては之れに從ふや否や甚だ疑はしきものなり、されば獎勵と同時に其用途方法を講じやるは最も必要なりとす然れども何れも安心して就業すべけん、道を開拓するに當りては未だ完全なるものと云ふを得ず何さなればかの北海れば利益の增大なるもの心得て其荒地を開拓す就ては何等完備せるものなかりしを以て北海道開拓事業も半ば失敗に終りたる事あり、されば韓政府に於ても之れに鑑み交通を完備ならしむるに於ては強制的に產業獎勵をなさずとも自然と留意するに至るや必せり、故に慶尙北道將來の生命は一に交通にあるものなれば此の際道路改修は決して忽にすべからず云々

●韓國墳墓習慣調査 墳墓に關することは遠く晉朝の時代に於て早く既に一個の學問として研究せられ地理風水と稱して盛んに唱導せられたるものなるが降て朱子の當時に於ても之れを研究したる跡あり其後此の說は遂に今日の韓國に波及し墳墓の習慣を作るの基礎を爲したるものゝ由にて一家の吉凶は墳墓の方向如何にありぐる爲めには身命を擲ち他人の所有權を侵害するに至りしものにて今日韓國の刑法大全にも之れを認容し庶民は墳墓の十步以外たるべしとあり例令ば他人の所有地なりと雖も十步以內は所有者をして容喙せしめざることを規定し明かに所有權を制限し居るを見るなり斯くの如く墳墓に關する習慣は非常に面倒なるを以て度支部にても墳墓に關しては特に愼重の調査を爲しつゝあるが法典調査局に於ても本年よりは特別に此習慣を調査せしむる筈なりと

●德山煉炭所の計畫 德山海軍煉炭製造所に於ては將來平壤炭を使用するの計畫を立て大に其需用額を增加するの豫定となりたるを以て試錐の結果を待て其の規模を擴張する由にて差向き之れに應ずる準備として炭坑改良工事原動力工場及び修繕工場等の設備を要するは勿論鎭南浦平壤間鐵道開通せば運炭上鎭南浦に貯炭場及積込裝置の設備を要し又海軍用炭に充てたる殘餘の炭量の處理方法として煉炭を製造し鐵道の使用に供するの途を講ずる等四十三年及四十四年繼續事業として第二期擴張費七十余萬圓を要求し同時に鑛業所官制の一部を改正せり

●暴動地正月の狀況 暴動地順川及龍岩浦並に揚市に於ける舊正月の模樣を聽くに歲末に際して物資の杜絕を覺り彼等は孰れも一方ならぬ苦痛を受けたるに悔悟たると正月に方りて一村悉く戶を閉ざし恰かも眠れる觀ある爲め幸にして無事靜穩也しと

●共進會出品の輸送 農商工部に於て目下整理中なる福岡、名古屋兩共進會への出品物は全部既に完成し近々森主事を福岡へ小島主事を名古屋へ宰領輸送せしめ兩主事をして夫れ〳〵陳列及裝飾の任に方らしむと

●一月中輸出檢疫牛 釜山輸出牛檢疫所に於ける一月中の成績を聞くに前月の繰越牛六十八頭新收容百七十六頭翌月へ繰越五十九頭斃死一頭にして差引百八十五頭日本へ輸出す

●平壤水道の完成期 去る四十年以來政府の繼續事業として敷設工事中なりし平壤水道は工事大に進捗し愈々來る三月中旬迄に竣工し同下旬より一般給水を開始すべしと

●京城理事廳祝賀會 三浦理事官の催に係る一昨十一日の紀元節祝賀會は京龍の官民約百六十余名に達し統監府より石塚長官小松國分兩參與官中山書記官等參列し盛大也しと

●稅關所屬船の損障 仁川稅關所屬巡船櫻井丸は否燈臺に糧食運送の爲め木浦方面を巡航中去る十一日群山を距る七浬の沖合に於て蛇槽を損じ運航不自由となりたりと云ふ

●統監邸の夜會開催 石塚長官は曾禰統監の代理として二十八日各國領事官敎師其他重なる外國人及日韓文武勅任官數十名を統監邸に招待し盛大なる夜會を開く事に決定す

●稅關支所設置請願 龍山居留民は同地に稅關支所を設置せられんことを其筋へ請願する由にて目下切りに運動を取りつゝありと云ふ

●間島邦人新聞發行 間島龍井村に於ける日人間に間島時報なる新聞を發刊するの計畫ある由なり

●貿易概表の發表 關稅局にては從來貿易旬報を發行し來りしが本年よりは之れに代つて前月上半月報並に各港別の貿易概表を發行する事となりたり

●日本大學校友會 十二日夜花月に於て開會平山淺見松井の諸學士臨席の筈

南韓の日本漁村

韓海漁業に根據地を經營する事は近時の流行にして關西九洲諸縣多くは相當の經營をなし或はなしつゝあり中には漁民の移住を獎勵し韓國に一部落を作りて盛に漁勞に從事しつゝある者あり今岡山廣島福岡三縣民の作れる移住漁村の近狀を聞くに▲龍南郡岡山村 岡山縣人の根據地にて四十一年十二月二棟十三戶分の漁舍を建築し昨年十月舊棟二十三戶分を增築し現今十七戶に男二十八女十九名居住せり漁船は延繩網のもの六隻一本釣一隻手繰使用四隻あり統營附近及び欲知島附近を漁場とし販路は統營地方なり▲固城郡牛頭浦 廣島縣人十年以前より鰯漁を目的として出漁したる者の內該地に殘留し韓人相手の商賈を始めてより年々其利あるを見遂に移民の增加するに至り目下戶數廿三戶人口九十八小學校設立の計畫中なり漁場は鎭海灣より巨濟島附近迄にて統營馬山方面なり▲巨濟島入佐村 福岡縣を主として近來佐賀其他の漁民も移住の戶數百廿八口四百を超ゆ先年水產組合にて土地を買收し貸與漁舍を建設し現今は雜貨商料理屋旅館等の設備もあり漁民百七八十人にして重に手繰網等を以て巨濟島南海岸に出漁す販路は釜山馬山なり

航路問題の成行

年餘の紛擾を重ね今尙は解決を見るに到らざる仁川を起點とせる西沿岸航路問題其後の成行を聞くに當局者は飽くまで成立の基礎を鞏固ならしめ且つ所期の條件を充たすに非ずんば斷じて其認可は勿論補助金の下附を爲さざるべく依つて信夫仁川理事官は熱心に關係當事者に說示し濫りに私情に拘泥するふして解決の速かならん事を希望しつゝあるが元來關係者の面々は孰れも同地知名の人々にして互に相讓り難く行掛かりわり之が爲に代表者撰定に就き彼是睨み合の姿に在る爲め容易に解決を望み得べからざるが如し而して折角必要有望なる航路も徒らに野心家の犧牲に供され行惱みつゝあるは遺憾の極みなりと云へり

●宇佐川總裁の東上 東洋拓殖會社總裁宇佐川中將は既報の如く十二日午前九時南大門發列車にて東上の途に就しが見送人多數なりき

●ハリス博士の來京 兼て沖繩巡回中なりしハリス博士は來る十五日來京本原牧師方に投ずる筈

●峰岸本社長 往復十日間の豫定を以て十二日午前九時南大門發東上

●川上繁治氏歸壤 入京中の手形組合理事の同氏は十日出發歸壤せりと云ふ

●山形要助氏入京 臺灣總督府土木部技師の同氏は十日入京巴城館に投宿

●遠藤技師の退京 入京中の建築所釜山出張所長の氏は十一日仁川へ向ふ

●中尾成治氏入京 醫學士中尾成治氏は十一日入京し山本旅館に投宿せり

第三小學敷地問題に就て

(京城居留地一公民)

十一日發刊の京城新報及び大韓日報所載の日本電通の報ずる敷地選定の醜聞なる記事は未だ事の眞相を解せざるもの〻如し元來議員なるものは居留地の議員にして決して些々たる私情を以て公共を議す可からざるは勿論、所謂東西の區別もある可からず大きく居留地眼を以て居留地の經營を爲す可し電通所報を讀みて聊か遺憾なき能はず余は子弟を有し亦敎育問題に付ては恒に注意を拂ひ居るものなり敢て當事者又は議員等の行動に付ても常に注意を怠らず今其大體に付て評論を試みんか原案則ち櫻井町案は目前の處一應不便の如く見ゆるも第三小學校管轄區[illegible]のは本町七八九十丁目大和町櫻井町花園町初香町新町東大門通紅葉町[illegible]韓醫院附近なれば先[illegible]選定するの至當な[illegible]に於て京元鐵[illegible]近に多數の日[illegible]ればなり中[illegible]兵衞氏依賴[illegible]有地と敷地[illegible]に人を中[illegible]議するに[illegible]地價も確定[illegible]地を買收せざる可からざるは勿論なり電通所報の議論に至りては櫻井町案熱心希望者の口より出でたるは勿論にして就中種々なる中傷的文字を竝べ立てたるに至りては實に醜の醜なるものなり余輩の眼より見れば此櫻井町案なるものにも大小非難の聲なきにもあらず此地所には中村再造等の擔保として貸金あり借主は有田某にして中村對有田間には種々の土地擔保の關係あり又釘本藤次郎が大和町に借家經營を爲しつゝあれば附近に學校なくては借家が塞がらずの恐れありとも云ふ問れなり何れの土地を撰むにしても多少種々の小關係を免かるゝ能はざるは勿論なり乞ふ諸君よ些々たる小事を云ふなかれ適當の場所を撰定し世人の承認すべき價格を以て敷地を購入し現在及將來の發展に鑑み衛生上に注意して以て公明正大なる處置を取られん事を望む苟も居留地問題たる以上正々堂々以て事に當られたし公共問題は議員の專有物にあらず宜敷輿論を喚起すべし電通の所謂其裏面には私黨の利害云々議員間相互衝突の兆あり云々等余輩未だ斯る事あるを聞かず此の如き記事は聊か此問題を攪亂するものならずして何ぞ聞く目下調査委員の手にて調査中なりと云へば委員に交涉するも良し亦宜敷說明を需むるも可ならん幸ひに貴社新聞の餘白を借りて以て居留民諸氏に對し余が意見を發表するを得ば幸甚

▲治外法權▼

一昨日の本紙外一新聞に揭載したる第三小學校敷地問題に關する醜聞は大分入ヶ間敷くなつて來た樣だ中井氏所有地案が與いと云へば別項一居留民の投書の如く櫻井町案に何か醜膽がある樣に云つて居る▲斯かる面白からざる問題が持ち上がつた以上は民團當事者は宜敷く嚴正なる調査を爲して多數居留民に安心を與へると同時に該地所に關係のある委員諸君は嚴正を保つ爲め宜敷辭任されん事を望む▲近頃は日本の市役所や韓國の所にダン〳〵犯罪事件が湧く[illegible]

一昨秋來米國經濟界の不振は歐洲各國に波及し延て我對米貿易上にも少からざる影響を與へ其の結果四十年は前年に比し一千九百三十萬五百十七圓、四[illegible]の改選税關定率改正問題等横はりたるが爲なりしも此等の問題解決せらるゝと共に漸く曙光を認め次で昨秋に於け[illegible]比し八億六千九百萬弗の増收を見るに至り經濟界は俄然と活氣を呈し來る際我が久邇宮殿下の御歴訪出雲艦の回航に利便を與へ新春と共に更に同國金融界は益す順調に向ひ各種の事業漸く勃興せんとするの形勢なれば我對米貿易[illegible]



仁川新町の大火

▲損害三十萬圓に及ぶ

去る十日仁川新町三丁目に出火あり燒失戸數四十六戸を數ふるに至れる由は既報の如くなるが現場の餘燼は同日午後十一時三十分頃再燃して附近に貯藏しある薪炭及び韓人飲食店を燒き拂ひ尚ほも高木病院方面に延燒せんとせしが消防の盡力と加ふるに防火壁の設備完かりし爲め危くも之れを消し止むるを得たるが又しても翌十一日午前一時過ぎ新町三丁目新炭商金熙順方より出火し約一萬坪に餘る同町三、四丁目一帶を灰燼に歸せしめたり

▲發火の原因 は右金熙順なる者前記新町の火災に消防の加勢に行き午後十二時頃歸宅して温突を焚き附けんとせし際誤つて附近に積みありし松葉に燃へ移り茲に大事となりたるが折しも西北の風は激しく吹き荒みて火勢益々猛烈となり瞬く裡に大一商會の材木倉庫及び邦人家屋四五軒を燒拂ひ風火相得て東南方に向ひ火の手彌々盛にして殆ど手の附け樣なく炎々たる猛火は高く黑煙と相俟つて沖し其凄絶の状は言語に盡しがたかりき

▲大神宮危し 斯くても盡きぬ炎焔は天を掩ひ東南方に向ひて燃へに燃へ殆ど底止せざるが中にも風下に當れる高所の大神宮並びに入坂樓は火の子降下し危險云ふばかりなかりしが幸にも防禦の功現はれて事なきを得たり

▲消防の活動 之より先第一第二及び支那人韓人組の各消防夫は喞筒を要所々々に据附て消防に死力を盡したりと雖ども此時既に四方に廣がりたる紅蓮を欺く毒舌は倉、家、材木等を殘らず嘗め盡しつゝ此分ならば花町筋も危險に迫りたるが午前四時過ぎ滿潮となるに及び燕瀛喞筒も來合せ岡田組前の邦人家屋を破壞して茲を最後と防禦に努めし結果午前六時三十分を以てさしもの大火も鎭火するに至れり

▲其の損害額 何分現場には材木商人蝟集し業を營み附近には同倉庫立ち列びし事とて損害高は約三十万圓の巨額に達し之れと共に仁川の木材は皆無に歸せりと云ふも過言にあらず

▲保險總金額 は大阪火災保險會社の契約に係る分千六百圓の損害あるのみに過ぎずと云ふ

▲罹災家屋數 全燒家屋は廿三戸(内韓人家屋六戸、破壞家屋二戸、燒失材木倉庫十棟、同納屋一棟)にして燒失戸數の割合に罹災面積の廣かりしは材木置場の多かりし爲めにして茫漠たる燒跡の慘状は見るから凄愴の感あり

▲火事場盜賊 仁川居住の廣島縣生れ森武新介と云ふは再昨夜の出火に際し同地新町高木病院の手提金庫を竊取逃走せんとする處を仁川署刑事の手に取押へらる

伊公と活動寫眞

▲活動寫眞師の實見譚 伊藤公遭難の活動寫眞を撮つた哈爾賓軍團御用寫眞師べ、ウエー、コブチエフ氏は兇變當時の感想に就いて住訪の人に對し手眞似巧に左の如く語り出した

▲露の三大政治家 としてコ、フッオ、ウイッテ、ストルヰピンを數へて居る、其一人のコ、フッオフが哈爾賓に來遊したのであるが、自分はコ、フッオフだけでは興味が少いから寫眞を撮らうとは思はなかつた然るに間もなく

▲伊●藤●公●爵●の來遊 と云ふ事になつた公は親露主義の人でもあり、何か重大なる會見があるのだらうと思つて實は興味を以て其寫眞を撮らうと思ひ高ひ足場を造つてプラットオームで待つた

▲汽●車●が●着●い●た●時 なんでもこの寫眞を完全に撮つて、露西亞人に見せてやらうと、外のことは考へずに、撮影機のハンドルを廻はして居ると、背の高い藏相コ、フッオフが見ねなくなつたので、何處へ行つたらうと思ふて居ると汽車の中へ這入つたのだといふ、此間に伊藤公との挨拶があつたので支那の軍樂隊が囃し立てる卅分程して

▲伊●藤●公●は●プ●ラ●ッ●ト●フ●オ●ー●ム● に下り藏相と並んで歩いて來られると、哈爾賓市民の歡迎團は思はず前の方へ出るその角へ來て三歩ばかり歩いて公は市民の代表者などに握手して居ると

▲爆●竹●の●や●う●な●音 がした、停車場の外で支那人が鳴らしてゐるのだなと氣にも留めなかつたが、これが安重根の狙撃であつたので、その中に露國士官が手を上げて一人の洋服を着た男の腕を叩き付けると、其手に持つて居たブラウニング式の拳銃から七發目の彈丸が空の方へ飛び出した、公爵下車後

▲露●國●軍●樂●隊●が 盛に歡迎樂を奏して居るので、こんな騷動が始まつて居ても少しも分らず、丁度彈丸が飛び出した瞬間に、やつと人が走つて來て活動寫眞撮影の後に居た樂隊を止めた時はモウ人波が崩れ始めて大混亂、寫眞を撮りながらも、後で漸く遭難のことを聞いて驚いた位ですと云々

●日韓人の大立廻 明治町二丁目合田義宗方同居群馬縣平民飯塚岩吉(三一)と云男は微醉機嫌で南大門通り三丁目を通行中向ふより來りたる大漢門前理髮業李乘五と出會頭に衝突したるが原因で喧嘩の花が咲き李のれ正月に新調したばかりの帽子を破損したれば直ちに警察に馳け込み訴へたるも是非の判斷の付き難きより巡りさんの仲裁で七十五錢の修繕料を支拂ふて事濟

●在京藝人懇親會 在京城の演藝人打ち寄り來る十四日午後六時より食道樂に於て懇親會を催す由にて出席者は琵琶で井上、鈴木、鍋崎、義太で才六、吉昇、奈良梅、龍糸、尺八で津門、琴で清澤、落語で千朝なりと云へば何れ面白き諸藝の演出せらるゝことなるべし尚ほ贔負客にして出席希望者は大に歡迎する由なり

●憲次郎を見失ふ 大和町三丁目憲兵官舍村井大尉の長男憲次(六つ)は去る八日の午後二時頃同家の小使長川鉛雄(十九)と共に南大門市場に同行したるに買物中憲次の蹤跡を失ひたれば慌てゝ南部署に保護願を差出したる處折好く該童は會洞派出所より巡査に伴はれて來りたれば飛立ばかり喜び厚く禮を述べて歸宅したりとは目出度し

●金時計を遺失す 南山町二丁目高木隆助は去る十二日午前十一時頃金時計(代價百五六十圓位)を外出途中遺失したるを同町福岡シヅエが拾ひ直ちに南部署に届出でたればシヅエに相當の謝禮なして元の手に歸るを得たり

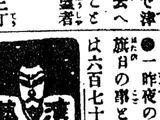
●高等演藝館披露 豫て黄金町(銅峴通)に新築中の高等演藝館は此程全部落成を告げ近日より開館の筈なるが同館は活動寫眞を常設し毎週一回新種を取換へ料金十錢以上にて一般日韓人の觀覽に供する由にて内部の装飾等頗るハイカラ的のものなりと而して同館の寫眞版はサイアム、バンコック府に常設せる寫眞を取寄する筈にて十二日午後五時花月に於て披露宴を開けり

●日●曜●の●基●督●教●會 旭町二丁目なる日本メソヂスト教會にては例の如く十三日朝十時聖書研究同十一時禮拜説教夕七時より感話會並に左の傳道説教あり朝「奇跡果して奇跡なるか」夕「罪惡の判定」木原牧師▲旭町四丁目日本基督教會にては同日午前九時半より日曜學校午前十時半より禮拜説教「神の報ゐ」石原牧師午後七時半より傳道説教「神の恩惠」コルナス教師あり▲日の出町京城基督教會にては午前九時半より日曜學校同十時半より禮拜説教夜は午後七時半より傳道説教あり朝「家庭の神聖」松本雅太郎氏夕「十字架上の基督」川本竹松氏

●白●石●商●店●の●乙●女●針 東京小石川區柳町の同店發賣の乙女針は專賣特許を得たる大好評の品にて穴を通す世話いらず老人にも容易に通る事妙にて京城地方特約販賣店の契約にも應ずる由但し裁縫界の一大福音と云ふべし

●春季種苗の販賣 東京府下瀧の川村農產種苗問屋桝屋本店にては最も正確の春蒔種子種蒔を最も廉價に販賣する由にて希望者へはハガキにて申込次第繪入説明附種苗案内と題する冊子を無代にて郵送すと云ふ

●一昨夜の新町 十一日新町遊客は旗日の事とて百二十六人にして上り高は六百七十圓三十五錢なり



▲●歌●舞●伎●座● 第六回目替り「日露餘聞海底電信」全八場にて主なる配役左の如し

副官谷田勇三(泉)令嬢靜枝(堀江)書生春海五郎(桂木)御用商人大庭年男(角村)二等卒岡崎次郎(吉井)參謀官栗本八郎(高島)次郎兄松吉(田宮)子爵二條兼光、陸軍大將乃木希典(松村)步兵大尉日下秀夫(小泉)露國將校ウカルカバアイ(美崎)

▲●壽●座● 十一日より同座に名乘りを揚げたる浪花節界の驍將桃中軒星右衛門今十三日の讀物は前『赤垣源藏德利の別れ』後席は『村松三太夫新割の滑稽』の二席にして外に霞州の筑前琵琶『護良親王土の牢屋』あり開場午後六時

星右衛門を聽く

既報の如く桃中軒星右衛門は愈十一日より壽座に開演せり、曩きに雲右衛門の門下の樣に記せしは全くの誤りにて同人の素性を明かすと先年宮崎滔天が二六新聞を出で浪花節界に投じた節同じく同社より斯界に投じたる深澤平吉と云ふのが即ち此の星右衛門である今年三十八歳で三十二歳の時初めて浪花節を稽古したと云へば僅々六年の間に天下に覇を稱ふるに至りし者にて其進歩實に驚く可き者である、現今の浪花節界大將連を並べると奈良丸、小圓、雲右衛門、若丸等で何んと云つても奈良丸は一歩拔け出て居るが外三人に星を比すると雲の華、圓の艶はなけれども人物を云ひ譯けることゝ且つ表情とは慥かに兩者以上で若丸の如きは到底比べ物にならぬ、彼れは自身でも云ふ如く雲右衛門の競爭者である、尤も雲右衛門の如く聲價も無く藝以外の外交術もなく其れに又雲の樣な巧妙な節廻しも出來ぬされど無教育なる雲の樣に間違つた事や野卑な事は云はぬ星の云ふ處は悉く文章的で然かも熱誠溢るゝ者がある要するに彼れの生命は意氣にある樣だ初日は天野屋と神崎であつた先づ舞臺には義士の肖像を祭り背面には各團体より貰つた無數の感謝状を表裝して掛け並べ茲に長髮美髯の星は下手より現はれ義士の像を拜し再び下手に下つて乘客に一揖し正面の卓子に向つた處身長五尺七寸の偉丈夫何んの事は無い東京力士太刀山を髯に生やしたと云ふ塑梅で實に堂々たる風采を備へさて一度び口を開けば音吐朗々破れるが如く而かも人情の機微を説いて遺憾なく天野屋が自砂の貴者を擔へて義士に誠を盡し後ち剃髮して東に下り細川侯の裏庭にて大石に再會まで約一時二十分間の長席一糸亂れずやつて除けしは天晴れなもの後席の神崎は例に依つて濟見潟の風景を讀みれ添物として丑五郎の馬引追分を節面白くやつた處實に甘い物だ、兎に角彼れは自から別派と稱して何人の節も眞似ぬと云つて居るが此向きなれば慥かに浪花節界に一派を立て通す事が出來るであらふ、序に霞州と云ふ琵琶師は二十二歳の青年だが中々の妙手である當地に筑前琵琶の流行する丈一層喝采の聲が高い(もの字)

●神原憲兵隊長歸朝 平壤地方巡視中の神原憲兵隊長は本日歸京の豫定なりしが都合ありて來る十六日に延期されたる旨通知ありたり



吉凶鏡 本町五丁目 三一館判斷

二月十三日舊正月三日七赤先負己酉危

△一白 建築動土分業分家移轉良好其他大抵吉△二黑 靖謐の日なり大抵吉△三碧 交際取引上に間違起らん建築動土には吉△四綠 盜難横領防ぐべし總じて厄運日なり婚約及共同組合組織には良好△五黃 貸借取引上に間違多く起らん其他平靜△六白 家庭内及交際上に紛爭起らんとす又情義のため勞苦出捐あらん△七赤 新事見合せの事整理解決に類する事妨げなし相談依頼契約等徒勞に歸す△八白 主上又は他人のため損害あらん子弟のために謀る事良好△九紫 新事及變更凶色情の難及中絕離間爭論起らんとす

二月十四日舊正月四日八白佛滅庚戌

△一白 衰運の日なり大小に拘らず控へ目にすべし旅行轉住相談契約依頼効なし△二黑 長上の者より無理壓伏を受くるあらんとす其他耐忍深くすべき日とす△三碧 盜難の恐れあり旅行無効とす爭論離間の象ちあり△四綠 寸より尺を追ふべき日なり突然促進の事効なし新事變更凶△五黃 情義のため煩勞を招くあらん職務上に疎漏失体ある勿れ△六白 常務上につきて悅びあり旅行開業婚姻等吉△七赤 契約相談依頼等對人關係には良好の日なり色情痴情の破れを招く勿れ△八白 保證受印世話事を禁す新事及整理改革凶八方的殺なし盜難防ぐべし△九紫 臨具のなり大抵吉旅行及子孫重保の事には忌む日なし

●天氣豫報(自十二日午後六時至十三日午後六時)

北東風曇少雪

十一日(攝氏) 最高温度 三五、六 最低温度 一〇、四

京城聯合繁榮會決算報告

收入之部

一金一萬四千三百八十圓 景品券五十七萬五千二百枚代入
一金一千二百五十圓 景品券十萬枚代 日本官煙東亞株式會社より入
一金三百五十圓四十錢 旗提灯代各加盟店より入
一金六十九圓九十八錢 預金利子及雜收入
一金三百三十圓八十二錢五厘 六等以下景品未引換商品切手及郵便切手賣戻し入
一金(債券)三千五百圓 第一等及第三等景品未引換入

合計 現金一萬六千三百八十二圓二十錢五厘 債券三千五百圓

支出之部

一金三百〇二圓八十錢 景品券及商品切手印刷費
一金五百三十六圓六十五錢 提灯壹千個旗竿四百本買入費
一金五百九十圓 旗五百本買入費
一金壹百四十八圓二十五錢 景品券商品切手調查費
一金壹千四百八十圓九十八錢 各新聞廣告及其他廣告費
一金五十八圓四十三錢 諸帳簿及筆紙墨買入費
一金壹百三十二圓三十三錢 事務所用木炭及石炭代
一金四百〇五圓 事務員の手當金
一金三百二十圓七十二錢 抽籤當日の費用其他辨當代
一金四千〇〇二圓五十錢 景品第一等より第五等迄の債券四千八百圓買入代
一金四千〇四十六圓 景品六等六十七本及第七等三千三百七十六本の商品切手代
一金三千三百五十八圓七十六錢 景品券等外六十七萬千七百五十二本に對する郵便切手類買入
一金五十三圓四十八錢 人夫及諸雜費
一金二百圓 抽籤器買入費
一金三百五十圓 總會費用

合計 一萬五千九百八十五圓九十錢

差引 殘額 現金三百九十六圓三十錢五厘 債券三千五百圓

右殘額處分方法

一債券三千圓 京城民團立尋常高等小學校敷地代の内に寄附
一同 五百圓 京城日本人商業會議所修繕費内に寄附
一金百五十圓 大神宮へ寄附
一金一百圓 京城婦人會恤兵部へ寄附
一金一百四十六圓三十錢五厘 本願寺行旅病者收容所へ寄附

計 現金三百九十六圓三十錢五厘 債券三千五百圓

差引無出入

右の通り相違無之候也

明治四十三年二月 京城聯合繁榮會

精算委員(イロハ順) 池田長兵衛 山下新太郎 前田熊市 松浦源治 進辰馬